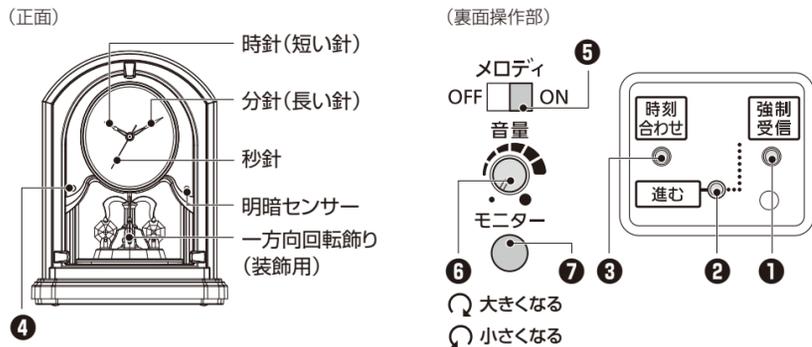


各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



- 強制受信** …………… 電池を入れた直後に押します。受信機能をONにして、受信を開始します。
- 進む** …………… 手動時刻合わせ状態のとき
押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。
手動時刻合わせ状態以外のとき
押すと、電波受信機能がOFFのときは受信表示ランプが2回点滅します。ONのときは消灯したままです。
- 時刻合わせ** …………… 約2秒間押し続けると手動時刻合わせ状態になります。時刻を合わせ終わったときに押すと、通常の時刻表示になります。
- 受信表示ランプ** …………… 受信の状態や受信結果を点滅、消灯でお知らせします。
- 報時スイッチ** …………… ON: 報時する OFF: 報時しない
- 音量つまみ** …………… 報時の音量調節
- モニター** …………… メロディの試聴/押すと1曲奏でる

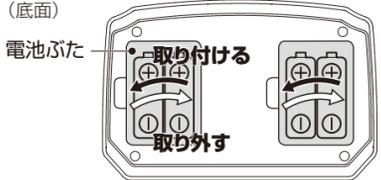
電池の入れかた

底面の電池ぶたを取り外し、電池ホルダーの⊕⊖に合わせて単3形アルカリ乾電池（推奨）を4個入れ、電池ぶたを取り付けます。



注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

※上が時計正面側です。



標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、**強制受信**を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

操作 *通常の針の動きのときに操作してください。

- 時刻合わせ**を2秒間押し続ける
手動時刻合わせ状態になると、分針が1～2目盛動いて停止し、秒針は12時位置まで移動して停止します。この状態になってから時刻を合わせます。
※秒針が動いている間でも、**進む**を押して時刻を合わせることはできますが、秒針が動いている間は、手動時刻合わせ状態を終了できません。
- 進む**を押して時刻を合わせます。
進むを押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。
- 時刻合わせ**を押すと、時を刻み始めます。
○手動時刻合わせ状態のまま4分間ボタン操作をしないと、通常の時刻表示に戻ります。
○**強制受信**を押すと、手動時刻合わせを終了して受信を開始します。
※手動で時刻を合わせても、電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

操作 *通常の針の動きのときに操作してください。

- 時刻合わせ**と**進む**の2つのボタンを同時に5秒間押し続けると電波受信機能のONとOFFが切り替わります。
- ONのときに押すとOFFに、OFFのときに押すとONになります。
- 電波受信機能が切り替わると、受信表示ランプの点滅の回数でお知らせします。
- ON状態になったとき:5回 OFF状態になったとき:2回**
- OFFにしたときは、必要に応じて手動で時刻を合わせる必要があります。
- 電波受信機能の状態を確認するときは、**進む**を押してください。受信表示ランプが2回点滅したときはOFFになっています。ONのときは消灯したままです。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。速やかに新品の電池にすべて交換してください。

- ※電池の交換時期をお知らせしてから1ヵ月程度は時針と分針は動き続けます。
- ※秒針は強制受信ボタンを押して受信しているときは明るい所でも停止します。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをご守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 電池の⊕⊖を逆に入れない。
 - 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
 - 長期間使用しないときは電池を取り外す。
 - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- ※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。



ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

電波を受信しやすい窓際に置いてください。

- 音量を最小にする**
※操作中に大きな音でメロディが鳴らないようにします。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる**
- 強制受信を押す**
針は12時位置に移動して、受信が終わるまで停止します。
※電池を入れた後は、必ず強制受信を押してください。
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。
※受信中はボタン操作をしないでください。
- 16分待つてから、受信結果を確認する**
受信が終わると針が動き出します。
受信表示ランプで受信結果をお知らせします。
2秒に1回点滅 : 受信成功 (正しい時刻)
消灯 : 受信失敗 (不正確な時刻)
→「標準電波を受信できない場合」参照。

- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて**強制受信**を押してください。
- 受信表示ランプは25時間以内の受信結果を表示します。

- お好みに応じて報時機能を設定する**

報時機能の設定参照。

報時機能の設定

メロディが収録されており、毎正時に1曲奏でます。

報時スイッチの設定
毎正時に報時させるときは、報時スイッチをONにしてください。
ON : 毎正時に報時する。
OFF : 報時しない。

暗所自動鳴り止め機能
ONにしても、明暗センサーと連動して暗くなると報時なくなります。
明暗センサーのはたらき参照。

報時音量の調節
モニターボタンを押してメロディが鳴っている間に、音量つまみを回して音量を調節します。報時を使用するときには、事前に音量を調節してください。
↻ 右に回すと大きくなります。
↻ 左に回すと小さくなります。

報時音の試聴
裏面にあるモニターボタンを押すと、時刻に関係なくメロディを試聴することができます。
○メロディが鳴っているときに、モニターボタンを押すと曲が切り替わります。次に報時するときは曲順が1つ進みます。
○電波を受信しているときは、受信をしやすくするためモニターボタンを押さないでください。

※曲目は時計裏面に表示してあります。
※時刻と曲目は固定されていません。
※報時すると曲順が1つ進みます。
※時刻合わせボタンを操作して正時にしても鳴りません。報時音を試聴するときには、モニターボタンを押してください。

明暗センサーのはたらき……………暗くなると秒針停止、報時停止

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針が12時位置に停止し、毎正時の報時を停止します。
※昼間や夜間照明時でも明るさが不足すると明暗センサーが反応します。
※明るい所でも常時秒針が止まっている場合は、電池の交換時期です。
「電池の交換時期お知らせ機能」(本紙裏面)参照。

設置について

時計の転倒や落下による時計や家具などの破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところに設置してください。傾いたところに置くと、回転飾りが止まったり、滑らかに回転しなくなることがあります。大理石を使用しているものは重量が有りますので、お取り扱いにはご注意ください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度	標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒 (温度が5～35℃のときのクォーツ精度)
使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと	
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 4個	
電池寿命	約1年 (電波の受信に成功して1日当たり17回報時(音量 中位)した場合)	
報時機能	毎正時にメロディを1曲奏でる	
音源	電子音	
暗所自動鳴り止め	明暗センサーと連動	
音量調節	回転式ボリューム	
標準電波	標準電波を受信して時刻を修正	暗所秒針停止 明暗センサーと連動
受信局	福島局/九州局 自動選択	電池の交換時期 秒針が常時12時位置に停止
受信回数	最少1回/日 最多6回/日	お知らせ機能
	*受信状態により変化	防滴防塵機能 なし
受信開始時刻	2～4時、12～14時	
	各時間帯の15分59秒	
	*2時15分59秒は、必ず行う	

※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試用です。工場出荷時に同梱してまですので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 お試用電池 4個、取扱説明書・保証書 本書